

防犯活動 防犯パトロール隊



【鳴海学区】

■世帯数：4,739 世帯

■人 口：10,969 人

■面 積：1.671 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 毎月「犯罪ゼロの日」に学区内（各町内会）で自主的に夜間パトロールを行っている。
- ・ 学区全体の実施方法として、小学校別（分団別）1 分団～7 分団で順番に月 1 回実施。現在は「青色パトロール車」5 台を有効に活用している。

【住民への PR 方法】

区政協力委員（町内会長）が町内自主防犯委員に活動を指示。

【アピールポイント】

ボランティアを自主的に継続することが大切である。

皆さんの理解もあり、現在では、小中学校生の登下校時の見守りも積極的に協力できるようになってきた。子どもの見守り、夜間の防犯パトロールも継続できている。

2 きっかけ、背景

街頭犯罪、特に侵入盗、自転車盗の防止を目標に活動しており、安全・安心を少しでも確保できるよう努力している。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、
民生委員児童委員、保健委員、消防
団員、女性団体・女性会、老人クラ
ブ 計約 150 人

(2) 他団体との協力

消防団（団員）

(3) 運営協力

各町内会において、自主防犯の若
手リーダー養成に努力している。

4 実施のスケジュール

H20 年 町内の自主防災会組織役員から
4 月 「防犯」の組織を立ち上げ

H21 年 町内会を分団（集合）し、小学
4 月 校が実施している「分団制」で
実施している（7分団）で月 1
回夜間合同パトロールを実施

H22 年 「青色パトロール車」5台が加
4 月 入し、現在に至る

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・参加者が増加するとともに、住民意識の高まり、住民間の交流の深まりがみられる。活動の担い手も増えている。
- ・侵入盗、自転車盗が減少した。少し成果が現れているのではないかとと思われる。

(2) 苦労した点

- ・参加者の確保、活動の担い手不足、住民の理解を得ることに苦労した。「自分たちの街は自分たちで守る」ことの重要性を理解し、協力してもらうことが大切。

(3) 今後の課題・展望

- ・活動の継続、担い手の世代交代。
- ・継続的に自主的な協力が必要。無理のない協力の仕方が第一である。

